

# 障がい者と取り組む 地域づくりシンポジウム

2019.12.7 (土) 13:30 ▶ 17:00  
13:00 開場・受付開始

日比谷図書文化館 コンベンションホール 大ホール (東京都千代田区)

障がいのある人もない人も、ともに支え合う地域のつながりを、どうつくるのか？長年、試行錯誤しながら取り組んできた日本・カンボジア・ミャンマーでの事例から、これからの地域づくりのヒントを探ります。

参加費

1,000 円  
(介助者は無料)

情報保障・  
日英逐次通訳  
あり

## プログラム

### 第1部 イン트로ダクション 障がい者をつくる地域づくり

— 「対象」から「主体」へ。  
これから目指す地域づくりのあり方とは—



河野 眞

国際医療福祉大学成田保健医療学部  
作業療法学科 学科長・教授  
AAR 理事

### 第2部 事例報告 日本・ミャンマー・カンボジアの取り組み

— 農村で障がい者とともにチャレンジする地域づくり—



日本

竹下 敦子

特定非営利活動法人ハックの家  
施設長



ミャンマー

ソー・ウィン・テイン

AAR パアン事務所  
CBR 事業担当



カンボジア

イエン・ラタナ

AAR プノンペン事務所  
インクルーシブ教育担当

### 第3部 トークセッション

#### 「地域のつながり」を醸成するために

— カギは「つながり」。試行錯誤の歩みから何を生かせるのか—



詳細・お申し込みは裏面をご覧ください

障がいのある人もない人も、誰もが暮らしやすい社会を目指す「地域に根差したインクルーシブ開発 (CBID=Community-based Inclusive Development)」の考え方が提唱されて、10年。誰もが取り残されない社会をつくるには、誰もが地域づくりの主体であることが欠かせません。AARは1980年代から海外で、2011年の東日本大震災以降は国内でも障がい者支援を始め、現在CBIDにも取り組んでいます。

本シンポジウムでは、ミャンマー、カンボジア、日本での事例を、それぞれ現場で活動するゲストやAARスタッフから報告するとともに、地域づくりで特にカギとなる「つながり」をいかに醸成していけるのか、紐解いていきます。開発協力に関心のある方、障がい者支援に関心のある方、地域づくりに関わる方、あるいは地域づくりへの参加を模索している方など、様々な立場の皆さまにご参加いただき、ともに考えていけたらと思います。

## 登壇者プロフィール

日本

竹下 敦子



特定非営利活動法人ハックの家  
施設長

宮城県塩釜市生まれ、岩手県田野畑村育ち。「障がいのある方々の暮らしを、もっとオープンで楽しくかっこよくしたい」と、福祉業界に就職。岩手県宮古市の福祉事業所を経て、2006年に同県田野畑村にあるハックの家で勤務を始め、自称「ポジティブ発達障がい」として現在に至る。

### ハックの家の活動

障がいのある人たちに障壁のない場を提供したいと、1996年開所。花咲き織りやルアー製造の受託、菓子製造販売などに取り組む。あらゆる障がいをもった人たちが、住みなれた街で安心して普通の暮らしができるよう支援することで、みなで支えあう街づくりを目指している。

ミャンマー

ソー・ウィン・  
テイン



AAR バアン事務所  
CBR 事業担当

2014年AAR入職。2016年からカレン州におけるCBR事業の立ち上げと運営に携わる。ミャンマー語とカレン語を駆使し、住民や行政、NGO、地域団体と良好な関係を築きながら、事業全般の運営管理、マネジメントや若手職員の育成に尽力している。

### AAR バアン事務所の活動

タイ国境のカレン州の農村部で、障がい者が直面する課題を、住民が地域全体の問題として捉え、解決していくこと、そのために障がい当事者自らが社会参画の場を生み出すことを目指し、自助団体の活動の支援や、コミュニティボランティアの育成、啓発活動などを行っている。

カンボジア

イエン・ラタナ



AAR プノンベン事務所  
インクルーシブ教育担当

2015年にAARに入職。障がい児を含む子どもたちの教育に向き合ってきた経験を活かし、地域住民や行政職員と良好な関係を築きながら、日々活動に取り組んでいる。並行して大学で障がい児のためのインクルーシブ教育の研究もしている。

### AAR プノンベン事務所の活動

カンダール州の公立学校において、障がいの有無に関わらずともに学べるインクルーシブな教育環境づくりに2013年より地域住民や政府関係者らと協力して取り組む。また、障がい児/者が直面する課題に対応するための地域組織の設立も後押しし、住民主体で継続的な活動となるよう工夫している。

モデレーター

河野 眞



国際医療福祉大学成田保健医療学部  
作業療法学科 学科長・教授  
AAR 理事

カンボジア、タジキスタン、トルコ、ミャンマーなどで地域に根差したりハビリテーション(CBR)に携わるのと並行し、国内でも障害者授産施設、知的障害者デイケア、特別支援教育、東日本大震災被災者支援など幅広く地域での活動に携わる。

## ● 会場

日比谷図書文化館  
コンベンションホール (大ホール)  
東京都千代田区日比谷公園 1-4

## ● アクセス

- 東京メトロ 丸の内線・日比谷線  
「霞ヶ関駅」B2出口より徒歩3分
- 東京メトロ 千代田線  
「霞ヶ関駅」C4出口より徒歩3分
- 都営地下鉄  
三田線「内幸町駅」A7出口より徒歩3分
- JR「新橋駅」日比谷口より徒歩10分

※会場に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用ください。



## ● 申込方法

WEB <http://www.aarjapan.gr.jp>

TEL 03-5423-4511

定員：150名 (定員に達し次第、締め切ります)

※点字・手話通訳など情報保障や会場までの案内が必要な方は **11月15日(金)** までにお申し込みください。車いすをご利用の方も事前にお知らせください。

## ● 主催・問い合わせ

AAR Japan [ 難民を助ける会 ]

TEL: 03-5423-4511 (月~土 10:00~18:00)

WEB: <http://www.aarjapan.gr.jp>